

第24期

事業計画書および予算書

株式会社 四番町スクエア

第24期 事業計画

株式会社四番町スクエアは、集客の核となる観光交流センター「ひこにゃんミュージアム」と地域交流センター「ひこね街なかプラザ」の運営を通して中心市街地の活性化を担う第三セクター方式によるまちづくり会社として平成15年に設立され、本年で23年目を迎えています。両施設のオープン当初は「国宝・彦根城築城400年祭」をはじめとする大規模な周年事業の成功などにより順調に売上げを伸ばしていましたが、イベント終了後は徐々に客足が遠のき、これが直営部門における売上げの減少とテナントの撤退による賃貸収入の減少に、また、撤退したテナントスペースの直営化が不採算部門を抱えることにつながり、平成23年度以降連続して経常損失を計上することとなり、さらに、こういった状況にコロナ禍が追い打ちをかけることとなりました。

このため、令和5年4月には、市、金融機関、税理士法人に参画いただく中で、令和9年3月期までの5年間の経営改善の指針となる「経営改善計画書」を策定し、現在この計画書に沿って経営改善の取組を進めています。

こういった中、令和7年度の我が国の経済は、「賃上げ率が2年連続で5%を上回るなど、「デフレ・コストカット型経済」から、その先にある新たな「成長型経済」に移行する段階まで来た。足元の景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心に見られるものの、緩やかに回復している。しかし、潜在成長力は伸び悩み、賃金の伸びは物価上昇に追いつかず、食料品を中心とした物価上昇により、個人消費は力強さを欠いている。今後も緩やかな回復を続け、実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.1%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は4.2%程度、消費者物価（総合）は2.6%程度の上昇率になると見込まれる」とされています。

このような状況下、当社における令和7年度・第23期について、来店客数、客単価とも前期を大きく上回っており、特に昨年5月に売場を拡大した「もへろんスタジオひこにゃんショップ」が大きく売上げを伸ばしています。また、店舗の名称を「ひこにゃんミュージアム」と改め、店舗2階に「ひこにゃんギャラリー」として展示スペースを設けたことから、当社店舗を組み込んだ旅行商品の造成やWeb検索で目的地として上位にランクされるなど集客力の向上につながっています。さらに、平成30年度から返礼品の登録を行ったふるさと納税については、季節限定商品や新たな商品を積極的に返礼品に取り込んだことなどから、過去最高の売上げを更新しています。

こういったことから、当社の第23期決算につきましては、最終損益、経常損益と

も4期連続黒字化が図れるものと見込んでおります。

次に、当社における第24期は、新たな経営改善計画に沿って、引き続き徹底した経費削減に努めるとともに、これまで進めてきた団体の立ち寄り客および昼食客の積極的な誘致を目指した受入体制整備を進めてまいります。また、株式会社もへろんスタジオやメディア関係等と連携しながら、Webや動画を活用した情報発信により、若者層、ファミリー層へもアプローチしてまいります。

さらに、引き続き、四番町スクエア協同組合と連携したイベントの展開やふるさと納税返礼品の積極的な登録などにより売上増を図りながら、経営収支のさらなる改善とともに当社設立の目的である中心市街地の活性化につなげてまいります。

一方、店舗のオープンから20年を超え、設備や機器等の修繕や更新、賃上げによる人件費の高騰に加え、原材料価格や物流経費の上昇による仕入価格の高騰など経済環境の悪化といった見通すことができない要素もありますが、次期の予定損益は次のとおりと見込んでおります。

第24期予定損益計算書

株式会社四番町スクエア

コード	勘定科目	第22期 (令和6年度) 決算額 全社	第24期 (令和8年度) 予想額 全社	差額全社	備考
4111	貸貸収入	12,632,105	11,500,000	▲ 1,132,105	
4112	業務受託料等	15,659,923	12,000,000	▲ 3,659,923	
4113	売上高	336,250,179	420,000,000	83,749,821	
4114	受取手数料	3,702,396	1,000,000	▲ 2,702,396	
4115	売上値引戻り高 (△)	0	0	0	
	【純売上高】	368,244,603	444,500,000	76,255,397	
5111	期首たな卸高	15,164,019	35,000,000	19,835,981	
5211	商品仕入高	266,733,152	336,000,000	69,266,848	
5213	仕入値引戻し高 (△)	0	0	0	
	【当期製品製造原価】	0	0	0	
5273	他勘定振替高 (△)	184,191	200,000	15,809	
5311	期末たな卸高 (△)	18,980,458	40,000,000	21,019,542	
	【当期売上原価】	262,732,522	330,800,000	68,067,478	
	【売上総利益】	105,512,081	113,700,000	8,187,919	
6111	雑給	1,201,269	2,400,000	1,198,731	
6113	広告宣伝費	740,546	800,000	59,454	
6114	容器包装費	3,825,813	3,300,000	▲ 525,813	
6115	発送配達費	469,204	500,000	30,796	
6116	販売促進費	2,685,854	2,800,000	114,146	
6117	その他の販売費	311,850	500,000	188,150	
6211	役員報酬	3,000,000	4,611,360	1,611,360	
6212	従業員給与	29,773,989	33,000,000	3,226,011	
6312	法定福利費	2,898,260	3,300,000	401,740	
6226	厚生費	241,100	270,000	0	
6214	減価償却費	4,088,414	6,000,000	1,911,586	
6234	リース料	308,000	350,000	42,000	
6215	地代家賃	8,677,608	8,900,000	222,392	
6216	修繕費	1,720,869	3,500,000	1,779,131	
6217	警備保守料	2,741,861	3,000,000	258,139	
6218	通信交通費	1,253,467	680,000	▲ 573,467	
6219	水道光熱費	8,218,577	8,600,000	381,423	
6221	租税公課	3,968,071	4,300,000	0	
6222	現金過不足	0	0	0	
6223	接待交際費	164,256	200,000	35,744	
6224	保険料	998,065	1,000,000	1,935	
6225	備品消耗品費	3,081,834	4,000,000	918,166	
6227	管理諸費	1,334,294	1,700,000	365,706	
6228	諸会費	615,127	650,000	34,873	
6229	支払手数料	6,848,126	7,800,000	951,874	
6313	清掃廃棄物処理費	1,183,618	1,200,000	16,382	
6314	貸倒償却	61,000		▲ 61,000	
6231	雑費	81,138	100,000	18,862	
	【販売費一般管理費計】	90,492,210	103,461,360	12,969,150	
	【営業利益 (損失)】	15,019,871	10,238,640	▲ 4,781,231	
7111	受取利息	13,239	50,000	0	
7114	受取配当金	0	0	0	
7118	雑収入	305,286	300,000	▲ 5,286	
	【営業外収益 計】	318,525	350,000	31,475	
7511	支払利息	2,030,640	2,000,000	▲ 30,640	
7519	雑損失	30,217	250,000	219,783	
	【営業外費用 計】	2,060,857	2,250,000	189,143	
	【経常利益 (損失)】	13,277,539	8,338,640	▲ 4,938,899	
	【特別利益】	0	0	0	
	【特別損失】	20,091	0	▲ 20,091	
	【税引き前利益 (損失)】	13,277,539	8,338,640	▲ 4,938,899	
	【法人税住民税事業税・税効果】	187,524	187,524	0	
	【税引き後利益 (損失)】	13,090,015	8,151,116	▲ 4,938,899	